



午  
 年が明け2014年が始まりました。遠山川砂防管内の此田地区でも平成25年度 天竜川水系 此田地すべり対策工事が本格的にスタートしました。先月には、平成25年度 天竜川水系此田地すべり抑制工事が無事完了し、引き続き工事に入ります。この二つの工事について紹介します。



平成25年度 天竜川水系此田地すべり抑制工事が12月17日に完了しました。この工事は、地すべり対策事業の此田地区Bブロックに現在設置されている2箇所の集水井に集水ボーリングを施工する工事と、小嵐第1砂防堰堤の降雨等で溜まった土砂を撤去し、撤去した土砂(18,900m<sup>3</sup>)を三遠南信自動車道工事の盛土材として活用する為に運搬する工事です。

## 集水井内での作業状況



## 削孔後の湧水状況

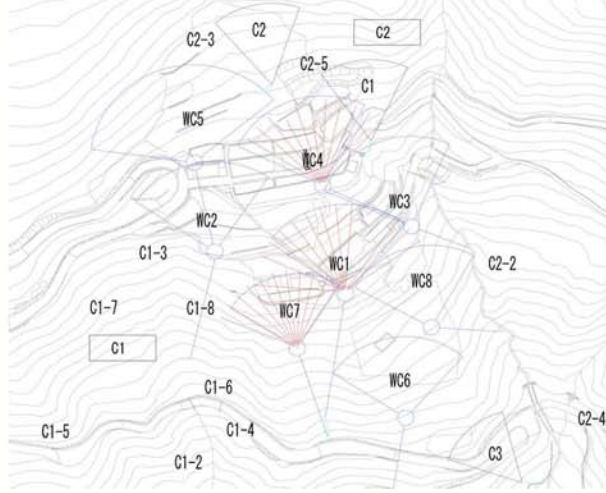


## 堆積土砂の撤去状況



## 平成25年度 天竜川水系 此田地すべり対策工事について紹介します。

場所 飯田南信濃八重河内此田地先  
 工期 平成25年12月12日～平成26年 3月28日  
 概要 斜面对策  
 地下水排除工  
 集排水ボーリング工  
 集水ボーリング 1673m  
 仮設工 1式  
 施工業者 池端工業(株)  
 現場代理人 柳澤 洋輔  
 監理技術者 緑川 実男



此田地区は、地区内を中央構造線が横断していて、東西で全く異なる地層帯が広がる特殊な地質状況下の為、地質は脆弱です。そのため、非常に粘土化しやすく、地すべりに伴う土砂災害が多発する地域となっています。今回の工事は地すべりブロックの深部に存在する地下水を排除・低下させ地すべりを防止する為に既設の集水井3基に増打集水ボーリングを施工する工事です。



## 「どんど焼き」で一年の無病息災を祈り良い年を!!

1月12日に大人20名子供25名が参加して遠山川河川敷で夜川瀬地区のどんど焼きが行われました。

「どんど焼き」とは小正月の行事で、正月の松飾り・注連縄(しめなわ)・書き初めなどを家々から持ち寄り、一箇所に積み上げて燃やすという、日本全国に伝わるお正月の火祭り行事です。

火は穢れ(けがれ)を浄め、新しい命を生み出します。竹の爆ぜる(はぜる)音は災いを退け、高く上る煙に乗って正月の神様が帰ります。どんど焼きは、祓い清め(はらいきよめ)という役割と、正月に浮かれた人々を現実世界に戻す、二つの役割を担った行事とおもわれます。この火にあたると若返るとか、焼いた団子を食べると病気をしない・虫歯にならないとかいわれています。

また、燃やした書初(かきぞめ)の紙が高く舞い上がると習字が上手になり勉強もできるようになるなどともいわれていて、1年中の身体健康・無病息災・家内安全・五穀豊穰などを祈願しました。



## 「人と暮らしの伊那谷遺産」をご紹介します

＜お問い合わせ先＞  
 天竜川上流河川事務所 砂防調査課 (TEL:0265-81-6417)

### ◎NO.12 天竜橋(てんりゅうばし) 所在地:天龍村平岡～長島



天竜橋の遠景



天竜橋の橋面



(国土地理院の数値地図25000(地図画像)を使用)

天龍村のJR飯田線為栗駅に通じる歩行者専用のつり橋です。橋がかかる場所は天竜川が和地野川と合流し、大きく蛇行しているため、急流で筏が押し戻され、その様子があたたかも信濃の国が恋しいと訴えるかのように見えるため、「信濃恋し」とよばれる名所になりました。

天竜橋の詳細な説明は下記をご覧ください

現在では、下流に平岡ダムができたこともあり、川の流流は穏やかで、川面に映るつり橋が美しく、静寂の中に為栗駅を発車する列車の汽笛がこだましていました。

